

第 2 部 活動報告

1. 活動記録

2017 年度において高等研センターが行った活動は以下のとおりである。

| | | |
|-------------|--------------------------------|-------------------|
| 開催件数 | 研究会(講演会、シンポジウム含む) | 26 件 |
| | 公開講座 | 1 件(全 4 回) |
| 刊行物 | 高等法政教育研究センター年次報告書 (2016 年度) | 2017 年 8 月 WEB 公開 |
| 高校・中学等の訪問対応 | 道内 7 校・計 239 名 | |

2017 年度に開催した講演会・シンポジウム・ワークショップ一覧

| | |
|---|--|
| <p>2017 年 04 月 15 日(土)</p> | <p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>報告Ⅰ:「転換期の中国における大衆団体の権利擁護事業について」(通訳付き)張万洪(武漢大学法学院・准教授) 報告Ⅱ:「契約法における事情変更の法理とリスク配分——日中台比較を中心に」(博士論文中間報告)鄧乾坤(北海道大学大学院法学研究科博士課程) 共催:「体制転換と法」研究会／北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| <p>05 月 11 日(木)</p> | <p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>報告:朱尋道(中国浙江省温州ベタニア教会牧師) コメンテーター:藤野彰(北海道大学国際広報メディア観光学院教授)、劉燕子(作家、翻訳家) 解説:佐藤千歳(北海商科大学准教授) 主催:科学研究費補助金基盤研究(B)「中国における差別問題の『発見』と法的対応」(研究代表者:鈴木賢) 共催:東アジアメディア研究センター、「体制転換と法」研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| <p>06 月 27 日(火)</p> | <p>政治研究会 「Beware of Chinese Bearing Gifts: Why China's Direct Investment Poses Political Challenges in Europe and the United States」</p> <p>講演:ソフィー・ムニエ上級研究員(プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン・スクール) 共催:北海道大学政治研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| <p>06 月 01 日(木) 02 日(金) 05 日(月)</p> | <p>Hokkaido Summer Institute 2017／高等研センター研究会 「移民・難民法と政治の世界危機:その過去・現在・将来を考える (World Crises of Migration/Refugee Law and Politics: Its Past, Present and Future)」</p> <p>日時:(第1回)6月1日(木)14時30分～ (第2回)2日(金)10時30分～ (第3回)5日(月)14時30分～ 場所:北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)W409 【報告テーマ及び報告者】 総合テーマ:「移民・難民法と政治の世界危機:その過去・現在・将来を考える (World Crises of Migration/Refugee Law and Politics: Its Past, Present and Future)」 第1回(全体会):6月1日(木)14時30分～ 「シリア難民の保護の危機とトルコとEUの相互関係に対するその影響 (Syrian refugee protection crisis and its impact on bilateral relations between Turkey and the EU)」 B・カレ准教授(トルコ・中東工学大学)※スカイプで登場 第2回:2日(金)10時30分～ 「アメリカ移民法——アジア系移民の歴史と過去からのレッスン (American Immigration Law: The History of Asian Immigrants and Other Lessons From the Past)」 H・モトムラ教授(カリフォルニア大学ロスアンゼルス校(UCLA)ロースクール)</p> |

| | |
|-----------|---|
| | <p>第3回:5日(月)14時30分～ 「移民—アメリカ・ヨーロッパの統治権のフロンティアと最後の砦 (Immigration: The Frontier and Last Bastion of Sovereignty in America and Europe)」 D・エイブラハム教授(マイアミ大学ロースクール) 共催 北海道大学法理論研究会、北海道大学民事法研究会、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 06月10日(土) | <p>法理論研究会定例研究会 「国際法は正統な法か:法概念論から法価値論へ」</p> <p>報告:郭舜氏(北大法学研究科准教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学国際法研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 07月15日(土) | <p>法理論研究会定例研究会 「アメリカ合衆国における連邦憲法と州憲法の関係のダイナミクス —婚姻平等(同性婚)を素材として—」</p> <p>報告:Mark Levin氏(ハワイ大学ロー・スクール教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 07月22日(土) | <p>法理論研究会定例研究会 「あいまいな法規定をめぐる現場自治体と事業者 —規制実施の正当性を求めて」</p> <p>報告:平田彩子氏(岡山大学准教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 07月28日(金) | <p>刑事法研究会特別例会 「中国における違法収集証拠排除制度の立法と実践」</p> <p>報告:楊宇冠(YANG YUGUAN)氏(中国政法大学教授、元中国司法部外事科官員、元国連犯罪予防科官員) 主催:北海道大学刑事法研究会 共催:日本刑法学会北海道部会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 07月29日(土) | <p>法理論研究会定例研究会 「正義をめぐる問いの〈コミュニケーション〉的転回と展開 —ウェーバー・ヤスパース・アレントという系譜」</p> <p>報告:菅原寧格氏(北海学園大学法学部教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 08月03日(木) | <p>法理論研究会特別例会「解釈主義的法理論とトランスナショナル・ロー」</p> <p>報告:長谷川晃氏(北海道大学教授) 主催:TNL 科研・研究会(代表:同志社大学・浅野由紀) 共催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 08月05日(土) | <p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>報告Ⅰ:「台湾民法の歴史的基礎、社会の変遷にともなう発展について」(通訳付き)王澤鑑(国立台湾大学法律学院名誉教授、元司法院大法官) 報告Ⅱ:「中国における弁護士像と法システムの相互関係—弁護士に対する統制体制を中心に」(博士論文中間報告)蘇航(北海道大学大学院法</p> |

| | |
|-----------|--|
| | <p>学研究科博士課程) 共催:「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 09月16日(土) | <p>SFJS/AF 創立 30 周年記念シンポジウム 「フランスの新たな選択と流動する世界」</p> <p>基調講演: 国末憲人(朝日新聞社前論説委員、朝日新聞 GLOBE 編集長) パネリスト: 吉田徹(北海道大学教授、札幌日仏教会常任理事)、ニコラ・ジェゴンデ(札幌アリアンス・フランセーズ院長) 司会: 江口修(札幌日仏教会/Aリアンス・フランセーズ理事長) 主催: 札幌日仏協会/Aリアンス・フランセーズ 共催: 朝日新聞 GLOBE、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター 後援: 北海道、札幌国際プラザ 協力: 小樽商科大学言語センター、株式会社アンビックス</p> |
| 10月13日(金) | <p>法理論研究会/民事法研究会/民法理論研究会共催 「動的システム論 (bewegliches System)」をめぐる誤解または過大評価—中国法の動向</p> <p>報告: 解 亘 氏(南京大学法学部教授) 共催: 北海道大学民事法研究会、北海道大学民法理論研究会、北海道大学法理論研究会、法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 10月21日(土) | <p>第 1 回 YeLL 実践検討会 「—自治体等の実践から学ぶ— 医療的ケア児の支援体制」</p> <p>1 事例報告 (1) 八雲町 報告者: 梅坪 光 氏(八雲町 保健福祉課 健康推進係 保健師) (2) 芽室町 報告者: 齊藤 唯 氏(芽室町 子育て支援課 子育て支援係 主任 保健師) 木村 理英 氏(めむろてつなん保育所 保育士) 2 情報提供 (1) 北海道 保健福祉部 地域医療推進局 地域医療課 (2) 北海道 保健福祉部 障がい者保健福祉課 主催: 医療法人稲生会 共催: 課題設定型科研 2017 年度第 2 回研究会、北大社会保障法研究会、北海道大学公共政策大学院附属公共政策学研究センター、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 10月09日(月) | <p>シンポジウム「台湾はなぜ、アジア初の同性婚を実現できたのか？」</p> <p>「婚姻平等化への道: 台湾の経験から」 講師: 呂欣潔氏(台湾同志熱線研究員、元立法委員候補者) 「婚姻平権プラットフォームの活動について」 講師: 鄧筑媛氏(婚姻平権プラットフォームロビー活動責任者) 通訳: 劉靈均氏(三重大学特任講師) 鼎談: 呂欣潔氏、鄧筑媛氏、鈴木賢氏 共催: コミュニティセンター・にじいろほっかいどう、科学研究費萌芽研究「台湾・中国における LGBT 権利保護法制整備への道」(鈴木賢研究代表)、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター 後 援: NPO 法人北海道レインボー・リソースセンター L-Port</p> |
| 10月24日(火) | <p>附属図書館・高等研センター共同企画 「国際機関情報の探し方セミナー: 国連編」</p> |

| | |
|-------------------------------|--|
| | <p>内容: ODS などのウェブツール 講師: 附属図書館スタッフ 共催: 北海道大学附属図書館、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 11月25日(土) | <p>法理論研究会定例研究会 「プロセス的法形成研究序説: 現代アメリカ公法への視角」</p> <p>報告: 椎名智彦氏(青森中央学院大学経営法学部准教授) コメント: 会澤恒氏(北海道大学法学部教授) 主催: 北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 11月11日(土) | <p>ワークショップ「体制転換と法」研究会</p> <p>報告Ⅰ: 「体制転換四半世紀と法——ロシアについて考える」篠田 優(北星学園大学経済学部教授) 報告Ⅱ: 「市場経済化の四半世紀と中国法」鈴木 賢(明治大学法学部教授、北海道大学名誉教授) 報告Ⅲ: 「中国における労働者派遣の実態と派遣法の機能」黄 晋(北海道大学大学院法学研究科博士課程) 共催: 「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 11月11日(土) | <p>講演会 「Informed consent - Illusion oder Realität des Medizinrechts?」</p> <p>演 者: Prof. Dr. Henning Rosenau ヘニング・ローゼナウ教授(ドイツ連邦共和国マルティン・ルター・ハレ大学) テーマ: 「Informed consent - Illusion oder Realität des Medizinrechts?(インフォームドコンセント - 医事法の幻想か現実か?)」 通 訳: 富山侑美(北海道大学大学院博士後期課程3年) 主催: 北海道大学刑事法研究会 共催: 日本刑法学会北海道部会、科研費・基盤研究B(17H02462)「臨床研究における刑事規制の総合的検討」(代表者: 城下裕二)、北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 12月16日(土) | <p>法理論研究会定例研究会 「社会運動と選挙運動——制度化に伴う集合行動の変容」</p> <p>報告: 富永京子氏(立命館大学産業社会学部准教授) 主催: 北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター</p> |
| 12月02日(土) 03日(日) 04日(月) | <p>第186回北大民法理論研究会</p> <p>【第1日目】 第1部 趣旨説明、第2部 開始講演、第3部 第1セッション: 歴史的不正義の補償(パート1)、第4部 第2セッション: 先住民族の健康問題</p> <p>【第2日目】 第5部 第3セッション: アイヌ女性によるパネルディスカッション、第6部 第4セッション: 最前線に立つ先住民族女性</p> <p>【第3日目】 第7部 第5セッション 先住民族コミュニティの自然資源の収奪、第8部: 第6セッション 言語・文化の復興、第9部: 第7セッション 歴史的不正義の補償パート2、第10部: 第8セッション 先住民族アートは脱植民地化を目指す</p> <p>共催: 北海道大学民法理論研究会、国際先住民族学術会議(組織委員会)</p> |

| | |
|--------------------|---|
| | 代表:丸山博室蘭工業大学名誉教授、科研基盤 B(特設)「過去の不正義・先住民族・戦争・移民の民事法理論——補償・市民(公民)権の意義」(代表:吉田邦彦北大法学研究科教授)、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター |
| 2018年 02月03日(土) | ワークショップ「体制転換と法」研究会 報告Ⅰ:「事例集から見る中国における環境訴訟の位置づけと評価」徐行(東京大学東洋文化研究所・助教) 報告Ⅱ:「中国における不法行為法の機能と目的——懲罰的損害賠償制度の運用」(博士論文中間報告)郎晴(北海道大学大学院法学研究科博士課程) 共催:「体制転換と法」研究会 / 北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター |
| 02月05日(月) | 法理論研究会定例研究会「『法文化論』の社会的構成:川島武宜思想受容史の視座から」 報告:郭薇氏(北海道大学法学研究科講師) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター |
| 03月06日(火) | 法学研究科・附属図書館 高校生向け 共同ワークショップ 「世界のルールの作り方・使い方」第5回 「グローバル化」ってなんだろう? —わが国における現状と法的課題— 講師:(第1部)嶋拓哉教授、 (第2部)附属図書館調査支援担当(図書館見学) 主催:北海道大学大学院法学研究科(附属高等法政教育研究センター、法学政治学資料センター)、北海道大学附属図書館 共催:一般財団法人北海道開発協会 |
| 03月16日(金) | 法理論研究会 「A Cosmopolitan Legal Order: Kant and Constitutional Justice in Europe」 報告:Alec Stone Sweet氏(シンガポール国立大学法学部教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター |
| 03月29日(木) | 法理論研究会特別研究会 「中国司法改革の最新動向」「中国における違法証拠排除規定の進展」 報告1:「中国司法改革の最新動態(中国司法改革の最新動向)」左衛民氏(四川大学法学院教授) 報告2:「中国非法证据排除規則最新發展(中国における違法証拠排除規定<the Exclusionary rule of illegally obtained evidence>の進展)」郭松氏(四川大学法学院準教授) 主催:北海道大学法理論研究会、北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター |